

やめさせよう 年金切り下げ



消費税でダブルパンチ

2015年には高齢者の
毎月の目減りは

年金月10万円75歳以上の場合

約**8,000円**に

年金減額+消費税負担額+
医療・介護保険料



暮らしを壊す暴挙

今年の10月から3年間で年金を2.5%切り下げる法律が、昨年11月、国会解散直前のどさくさのなかで成立しました。高齢者の42%、女性は65%が年収100万円未満です。医療・介護保険料や税金は上がり続け、消費税も上げられようとしているとき、さらに年金を減らせば、生活できない高齢者がいっそう増えます。

自民党の公約は…

〈貧しいものはより貧しく〉

民主党政権は、社会保障の基本は「自助・共助・公助」だとして国の責任を後退させてきました。新しく政権についた自民党は、これに輪をかけて「自助・自立が第一」といっています。働く人たちの賃金も、高齢者の年金も切り下げて「貧乏人はさらに貧しく暮らせ」といわんばかりです。

際限なくつづく年金切り下げ

この10年来、物価が下がったとして年金は下げられ続けています。2000年には10万円だった人は、今現在9.7万円余にまで落ち込んでいます。そのうえ3年間で2.5%も切り下げ、その翌年からは「デフレ下でのマクロ経済スライド」という制度で毎年0.9%以上、短くても10年先まで下げ続けることが計画されています。

「異議あり!!」の 声を上げよう

署名運動や議会・議員への働きかけを強め、年金2.5%切り下げをやめさせましょう。年金者組合は、「異議あり!! 年金切り下げ」の行政不服審査請求運動も起こします。



全国労働組合総連合(全労連)

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4全労連会館4F
TEL(03)5842-5611 FAX(03)5842-5620
Email: webmaster@zenroren.gr.jp

全日本年金者組合

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20
TEL 03-5978-2751 FAX 03-5978-2777
E-mail: honbu@nenkinsha-u.org

どうぞご加入ください
あなたも年金者組合に

消費税増税をやめさせよう

社会保障財源を口実に消費税増税の法律が作られました。しかし、それでは、冷え込んでいる経済を一層悪化させます。社会保障財源は、消費税増税ではなく、大儲けしている大企業や富裕層への応分の負担と軍事費や不要不急の大型公共事業予算の削減などでつくるべきです。

社会保障などを充実させれば個人消費を増やし、日本経済を活性化できます。



戦争する国へとすすむ 憲法改悪はゆるさない

安倍首相は、「憲法の改正規定96条から変えていく」と言明し、9条を改悪して「国防軍」をつくとまで言っています。

また、社会保障制度における国の責任を明記した憲法25条の改悪の危険性も高まっています。平和と人権を否定する憲法改悪を許してはなりません。



最低保障年金制度をつくろう

衆議院議長殿
参議院議長殿

2.5%の年金削減をやめ 安心の年金制度を求める請願署名

仕事がない、あっても非正規など低収入の若者に老後を考える余裕さえありません。仕事や収入の確保と同時に全額国庫負担の「最低保障年金」など、安心の年金制度が必要です。

2.5%の年金削減は、高齢者だけの問題ではありません。経済に打撃をあたえ、いっそうの年金改悪に道をひらく削減計画は止めるべきです。

請願項目

1. 生存権を脅かし、さらなる減額に道をひらく年金2.5%の引き下げをやめること。
2. 年金のいっそうの引き下げをすすめる「マクロ経済スライド」を廃止すること。支給開始年齢の引き上げなど、年金制度の改悪はしないこと。
3. 消費税によらない最低保障年金制度をはじめ、若者が将来に希望を持てる年金制度に改善すること。
4. 消費税増税をやめること。年金・社会保障制度拡充の財源は、大企業や大金持ちへの優遇税制是正などによって確保すること。

氏名	住所

全国労働組合総連合(全労連)

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4全労連会館4F
TEL(03)5842-5611 FAX(03)5842-5620
Email : webmaster@zenroren.gr.jp

全日本年金者組合

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20 天翔大塚駅前ビル
TEL 03-5978-2751 FAX 03-5978-2777
E-mail : honbu@nenkinsha-u.org